



Music Program TOKYO



プラチナ・シリーズ A

～精緻の極限、さらにその先へ～



ディオティマ弦楽四重奏団

Quatuor Diottima

2023年
(令和5年)

1月11日

水
Wed

19:00

開演 (18:30開場)
Start (18:30 Open)

東京文化会館 小ホール
Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

出演

ヴァイオリン：ユン・ベン・チャオ
ヴィオラ：フランク・シュヴァリエ

Violin: Yun-Peng ZHAO
Viola: Franck CHEVALIER

ヴァイオリン：レオ・マリリエ
チェロ：ピエール・モルロ

Violin: Léo MARILLIER
Cello: Pierre MORLET

曲目

ツェムリンスキー：弦楽四重奏曲第1番 イ長調 Op.4

ZEMLINSKY: String Quartet No.1 in A major, Op.4

リゲティ：弦楽四重奏曲第2番

LIGETI: String Quartet No.2

ブラームス：弦楽四重奏曲第2番 イ短調 Op.51-2

BRAHMS: String Quartet No.2 in a minor, Op.51-2



【10月8日(土)発売】全席指定
S 5,500円 A 4,400円 B 2,750円 25歳以下(全席共通/要証明書) 1,100円
※B席・25歳以下席は東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。
※東京都のガイドライン等に基づき販売いたします。収容定員制限と販売状況に応じ、今後販売を停止する場合がございます。
予めご了承の上ご購入ください。
※最前列はA列です。
※発売日には全席を販売します。
※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※託児サービス(要予約・有料・定員あり・1/4(水)17時締切)があります。イベント託児・マザーズ：0120-788-222

お申込み

- 東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 t.bunka.jp
- チケットぴあ
t.pia.jp
- イープラス
eplus.jp/t-bunka/



(公演詳細はこちら)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や検温など、ご理解とご協力をお願いしております。「東京文化会館へご来場される皆さまへのお知らせとお願い」をお読みの上、ご来場くださいませよう願いたします。
t-bunka.jp/info/5673/



主催：東京都 / 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

お問合せ：東京文化会館 事業係 03-3828-2111 (代表)
t.bunka.jp [@tbunka_official](https://twitter.com/tbunka_official)

20世紀の終わりに結成されたフランスの弦楽四重奏団ではエベヌ弦楽四重奏団が知られているか。エベヌの幅広いレパートリーとグルーヴとは大きく異なり、西洋芸術音楽における弦楽四重奏の骨太な系譜を踏まえ、新しい作品を中心に演奏するのがディオティマ弦楽四重奏団だ。

ディオティマ、みなれない名かもしれない。ドイツの詩人、ヘルダーリンに『ヒュペーリオン』という小説があり、そこに登場する女性、ギリシャ的な美そのものであるような女性がディオティマだ。この文学作品を参照しつつ作曲されたのが20世紀イタリアの作曲家、ルイジ・ノーノの弦楽四重奏曲。ドイツとイタリアでつくられたものにインスパイアされ、フランスで結成されたアンサンブル——そこにはヨーロッパから生まれた芸術音楽へのつよい意識が感じられるといい。

とつぎにくいとおもわれる現在の音楽を積極的に演奏する音楽家たちは、古典にたいしてもあくまで「いま」のものとしてアプローチする。ブラームスとツェムリンスキーというドイツ／オーストリアの作曲家をどう演奏するのか。20世紀の作品とどう対照するのか。耳だけでなく、眼と肌をも動員して、体感していただければ、と。

小沼純一（音楽・文芸批評）



© Iyodoh Kaneko

Quatuor Diotima

ディオティマ弦楽四重奏団

ディオティマ弦楽四重奏団はブーレーズ、ラッペンマンと言った偉大な作曲家たちと仕事をともにしてきた。また細川俊夫、レベッカ・サンダース、トリスタン・ミュライユなど現代を生きる作曲家たちに新曲を委嘱してきている。現代音楽のみならずベートーヴェン、シューベルト、新ウィーン楽派、ヤナーチェク、ドビュッシー、ラヴェル、バルトークなどの数々の傑作に新たな光を当ててきている。バルトークの弦楽四重奏全曲、新ウィーン楽派の作品集、ブーレーズの《書》など録音も多数行っており、フランスのディアパソン・ドール、クラシカ誌「年間最優秀賞」やテレラマ誌、グラモフォン誌、ストラッド誌などの数々の賞を受賞してきた。ドナウエッシンゲン音楽祭、アムステルダム・ムジックゲボウ、パリ・フィルハーモニー、ハンブルク・エルブフィルハーモニー、リンツ・ブルックナー音楽祭、シュトゥットガルト・リーダーハレなど世界最高のコンサートホールにおける室内楽シリーズや現代音楽シリーズに出演している。2021-22シーズンは名譽あるシカゴ大学のアーティスト・イン・レジデンスに選ばれており、演奏、ワークショップ、および教育活動に従事するほか、トーマス・アデス、マティアス・ピンチャー、エンノ・ボッペなどの新作を演奏することになっている。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する《Enjoy Concerts!》、海外の芸術機関や国内の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。



12月7日(水) 19:00 開演

鈴木優人 & バッハ・コレギウム・ジャパン アンサンブル

～スペシャリストによるバロックのタベ～

プラチナ・シリーズ 3



© Marco Borggreve

出演 鈴木優人(チェンバロ) 鶴田洋子(フラウトトラヴェルソ)
三宮正満(オーボエ) 若松夏美(ヴァイオリン)
山本 徹(チェロ)

曲目 テレマン : 「ターフェルムジック」第1集より 四重奏曲ト長調 TWV43:G2
J.S.バッハ : 「音楽の樹げもの」BWV1079より 他

チケット発売日: 9月3日(土)

2023年2月12日(日) 15:00 開演

今井信子

～世界を牽引し続けるヴィオラ奏者～

プラチナ・シリーズ 5



© Marco Borggreve

出演 今井信子(ヴィオラ) 伊藤 恵(ピアノ)

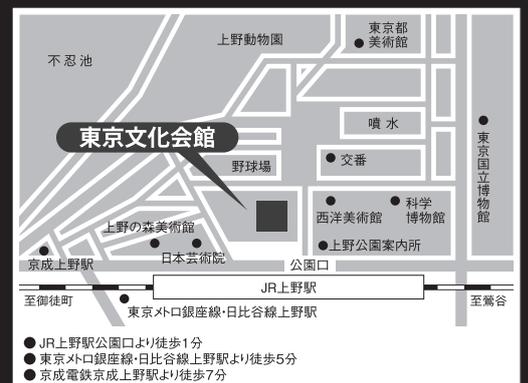
曲目 シューマン : 「おとぎの絵本」Op.113
武満 徹 : 鳥が道に降りてきた
レベッカ・クラーク : ヴィオラとピアノのためのソナタ 他

チケット発売日: 11月12日(土)

全席指定

S 5,500円 A 4,400円 B 2,750円

25歳以下(全席共通/要証明書) 1,100円



- JR上野駅公園口より徒歩1分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅より徒歩5分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩7分